



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp



第596号
2023年6月19日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

八千代市の危機管理体制を問う

6月13日の一般質問にて、日本共産党は3月6日に発生した「村上地域の濁り水」の際、八千代市の危機管理体制はどうなっていたのか、さらに、2018年から八千代市に任用されている「自衛官退職者の危機管理監」が何をしていたのかを質問しました。

危機管理課が所属する総務部からは「濁り水につきましては、公営企業として市民に飲み水を提供する上下水道局が中心となって対応にあたっていた」危機管理監については「上下水道局から濁り水発生の一報を受けた後、影響範囲など事案の詳細な状況について報告を求め、情報収集にあたっておりました」との答弁がありました。市民のライフラインとしての水が飲めない状況にあったにもかかわらず、危機管理が働いていなかったということがわかりました。

専門家としての危機管理監の役割は

市民生活に重大な被害が及んでいるとき、その対応・対策は、スピードかつ的確さが求められます。濁り水発生直後の午前11時から個別に給水袋を届けていたのに、給水車の配置は後手後手になり、関係住民は飲み水の確保に汲々としていたのです。「危機管理課が冷静に判断をして提案することができたのでは」と指摘をしました。

今回、危機管理監は何をしていたか？と質したのは、担当部局が混乱した場合に冷静に判断を下すことができる「専門家」として任用されたことをあらためて確認するためでした。

2020年7月5日の服部市長のブログには、危機管理監について「組織の上では『危機管理監』は総務部に属していますが、実際には市長直属です。的確な判断を迅速に指示・行動に移せるようにしています」と記しています。今回の事案を見る限りそうならない。市の不十分な対応は市長にも重い責任があることを指摘しました。

●服部市長のブログより

八千代市政を
考えるブログ

八千代市長
はっとり友則

八千代市は「防災危機管理監」に専門家を配置しています

2020/07/05 20:00 👍 312

約6年半前、台風被害で八千代1号幹線沿いが浸水*し、多くの家屋や車の浸水被害が発生してしまったことは記憶に新しいと思います。被害が拡大した原因として、水位警報装置の整備不良や避難の事前周知不足、対策本部設置の遅れなどが挙げられていますが、市民の皆さんを救うためには「的確な判断」そして「迅速な対応」が不可欠です。

私は市長就任にあたっての公約として、「水害・地震など災害時の円滑な対応を目指し、自衛官による防災危機管理監の常駐の実現」を掲げていました。今回は、このお話をしたいと思います。

*補足
現在は、「八千代1号幹線浸水対策調整部室」

総務常任委員会2度目の可否同数、公明党委員長採決にて不採択

常任委員会で可否同数となった場合、委員長の採決によって可否が決まります。

3月議会では陳情第1号にて沖縄普天間基地の問題で、子どもたちの安全保障を願う陳情が可否同数にて委員長採決となり不採択。

6月議会では、陳情第4号にて、インボイスの延期・見直しを求める陳情が可否同数にて委員長採決となり不採択。

地方議会から国へ声をあげて欲しいと願う陳情が、ことごとく委員長採決で不採択となる結果が続いています。

小さくとも国民の声が踏み躪られる結果に憤りを感じます。

インボイスの延期・見直しを求める同様の発議案を日本共産党は提出しています。採択を願い討論をいたします。ぜひ、本会議へ傍聴にいらしてください。